

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)京田辺久戸の Apart 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート 基本設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	Q1		Q2		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境						3.2
1 音環境		3.0	0.15	3.3	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル	-	-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	1.00	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能	-	3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	-	-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-35	-	-	5.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50	-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音	-	-	-	-	-	
2 温熱環境		-	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		-	-	3.0	1.00	
1 室温	-	-	-	-	-	
2 外皮性能	-	-	-	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御	-	-	-	-	-	
2.3 空調方式	-	-	-	-	-	
3 光・視環境		2.4	0.25	3.2	1.00	2.9
3.1 屋光利用		1.8	0.48	2.4	0.50	
1 屋光率	-	1.0	0.56	3.0	0.50	
2 方位別開口	-	-	-	1.0	0.30	
3 屋光利用設備	-	3.0	0.44	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		-	-	4.0	0.50	
1 屋光制御	住居:カーテン、庇により制御	-	-	4.0	1.00	
3.3 照度	-	3.0	0.20	-	-	
3.4 照明制御	-	3.0	0.33	-	-	
4 空気質環境		4.0	0.25	3.7	1.00	3.8
4.1 発生源対策		4.0	1.00	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		-	-	3.3	0.38	
1 換気量	-	-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能	住居:1/8以上	-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	-	-	-	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		2.9	0.40	4.0	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのブロードバンド設備	-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法 建築物移動等円滑化誘導基準(最低限のレベ	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観	住居:2.5m以上	-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-	
3 内装計画	-	1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	内壁面は防汚性の高い仕上げを採用等	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニルクロス・フローリング	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	汚水排水:B,雑排水:B	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	-	2.0	0.20	-	-	
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	光ケーブル設備等	4.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		2.9	0.30	3.0	1.00	2.9
	3.1 空間のゆとり		1.0	0.02	3.0	0.50	
	1 階高のゆとり	-	-	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-	1.0	1.00	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	-	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.98			
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20			
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20			
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10			
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10			
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20			
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20			
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.8
1	生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30			3.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30			2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50			
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50			
LR	建築物の環境負荷低減性						3.4
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制	-	2.8	0.20			2.8
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10			3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.81	5.0	0.50			5.0
4	効率的運用		3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	0.06			
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50			
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50			
	集合住宅の評価		3.0	0.94			
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50			
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50			
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護		3.0	0.20			3.0
	1.1 節水	-	3.0	0.40			
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60			
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70			
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30			
2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60			3.3
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10			
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20			
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10			
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能等	5.0	0.20			
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20			3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30			
	3.2 フロン・ハロンの回避	-	3.5	0.70			
	1 消火剤	-	-	-			
	2 発泡剤(断熱材等)	ODP<0.01 GWP<50	4.0	0.50			
	3 冷媒	-	3.0	0.50			
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮	LCCO2=90%	3.4	0.33			3.4
2	地域環境への配慮		2.7	0.33			2.7
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25			
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50			
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	-	2.0	0.25			
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25			
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25			
	3 交通負荷抑制	-	1.0	0.25			
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25			
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33			3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
	1 騒音	-	3.0	1.00			
	2 振動	-	-	-			
	3 悪臭	-	-	-			
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70			
	2 砂塵の抑制	-	3.0	-			
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30			
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20			
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策の一部を満たす、広告物照明なし	4.0	0.70			
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30			

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)京田辺久戸の Apart 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0	○	-	-	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	3.0	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0	○	-	-	3.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	○	2.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	○	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	11.0	○	-	1.0	1.0	3.0	-	2.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	12.0	○	1.0	-	-	3.0	3.0	1.0	-	1.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	○	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	○	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	○	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	
3.1.1 屋光率	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH - 屋光率 0.0%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 0.0%
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース .0m ² /人 病床 .0m ² /床 シングル .0m ² ツイン .0m ²
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 0.0 VA/m ²
1.2.1 広さ感・景観	天井高 0 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 20 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 3.5 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 47.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 2900 N/m ²
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 52% 建物緑化指数 1%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 48% 水平投影面積率 16% 地表面対策面積率 32% 舗装面積率 0%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級3 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m ² 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI _m 非住宅 0.81 住宅 0.81 太陽光 3.7kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 押出法ポリスチレン発泡体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0.01未満 地球温暖化係数(GWP) 50未満
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 85% 隣接間隔指標R _w 0.84 地表面対策面積率 57.0% 屋根面対策面積率 1.0% 外壁面対策面積率 #DIV/0! 見付面積S _b 30m ² 卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 30 m 基準高さH _b 30 m 緑地 111m ² 水面 m ² 保水性対策面 m ² 高反射対策面 m ² 再帰性反射対策面 m ²